

箕面市児童発達支援事業所あいあい園の療育充実に向けてのアンケート

集計結果

第6期箕面市障害福祉計画 第2期箕面市障害児福祉計画が策定され、令和3年度から令和5年度の本市の障害福祉サービス及び障害児支援の見込み量とその確保のための方策、また分野別施策の具体的方向性などが記されています。本計画を基に、本市早期療育事業の充実に向けて、今後のあいあい園の運営等を検討するにあたり、ニーズを把握するため、終了児、在園児の保護者にアンケートを実施しました。

【調査の実施概要】

- 実施期間 令和3年7月15日～8月6日
- 対象 令和2年度から令和3年度に在籍されていたお子様の保護者
令和3年6月に在籍されているお子様の保護者
- 保護者には、あいあい園を利用されて良かったこと、強化したほうが良いと思われること、就学後や将来に向けて大切だと思うこと、あいあい園終了後の進路について回答いただきました。また、ペアレントメンターについての調査を実施しました。

○アンケートの回収状況

調査対象	配布数	回答数	回収率
令和2年度～令和3年度に在籍されていたお子様の保護者	74件	26件	35%
令和3年6月に在籍されているお子様の保護者	59件	21件	36%
合計	133件	47件	35%

【集計結果】

1. あいあい園に通園されて良かったと思われることはどのようなことですか？
良かったと思われるものから順に5つ、□に1～5の数字をご記入ください。

	1	2	3	4	5	✓での回答	合計
保育活動	12	5	3	5	1	5	31
保護者同伴通園	5	3	3	2	1	6	20
子育てに関する相談	10	5	1	1	6	8	31
健康相談	0	1	0	1	0	1	3
進路相談	0	1	2	2	0	2	7
給食・おやつ	0	2	1	0	3	0	6
保護者交流	1	3	3	1	7	7	22
療法士による個別相談	3	7	4	4	7	10	35
学習会	0	0	5	2	1	2	10
分離保育	0	0	1	3	0	2	6
他機関との連携	0	1	1	0	3	2	7
食事援助	0	0	0	0	0	2	2
送迎	0	1	3	1	0	1	6
玩具・遊具	0	3	2	4	1	2	12
遊び場などの環境	2	1	4	6	2	5	20
その他	0	0	0	0	0	0	0

良かったと思われる理由を具体的にご記入ください（記入いただいた原文のまま記載）

- ・保護者同伴通園で子どもとの関わり方を直接見ることができた。個別相談や学習会はためになることを教えてもらった。買わないような玩具があり、夢中で遊んでいた。滑り台を滑れるようになった。買ったことのないお菓子がでて、好き嫌いが知れた。
- ・コロナの影響もあり、保育園など外での様子を見れる機会がありませんでしたが、保護者同伴で知ることができたので、良かったと思います。また、少数で見てくださるので、先生にも個別に相談しやすい雰囲気だと思います。他の子どもと一緒に遊べるので、コミュニケーションの取り方を自分の子どもが学べるのかなと思います。
- ・本人の性格に寄り添った内容の支援の相談ができるので、よく子どもを観察してくれて理解してくれるのがよいと思いました。
- ・子どもの遊ぶおもちゃや遊具が多かったのが良かったです。
- ・保育活動も子どもに合わせたものが多かったので楽しんでいたので良かったです。
- ・同じ悩みを持つママたちと話すことで一人じゃないと思えた。先生方に日々の大変な思いを聞いて

てもらえ、救われた。かんしゃくを起こしたときやその前にできることなど教えてもらえ、それを実践することで日々を過ごすことが随分楽になった。

- 同じ悩みを持つ親同士の交流はとても心強い。今でも定期的に会って話すつながりがあることで、お互いに支えになっている。日頃あるこだわりやくせ、困ったことを先生に話せることで気持ち軽くなった。担当のST、OT、心理士さんがいることはありがたかった。
- 進路相談はすごく助かりました。
- 1歳半健診でひっきり、訳の分からぬまま、あいあい園にきました。娘の障害についてわからないことだらけだった私に先生達がしっかりサポートして教えて頂き、話を親身になって聞いてくださいました。あいあい会で出会った保護者の方達ともいろいろな情報の共有ができたりと助かることが多く、ありがたく思っています。あいあい園は本当にいい場所です。
- 保護者同伴通園のため、親は先生方に相談しやすく普段の子どもの姿を見てもらえること。給食は生活のリズムが整い、子どもにゆっくり向き合える時間だった。療法士さんとお話ができて専門的なことも教えてもらったので良かったです。
- 不安に思っていることをとても親身に先生方が聞いたり、アドバイスを頂いた。
- 親子で参加する事で子どもへの接し方が学べた。子どももいろいろなおもちゃや遊具があるので、いつも楽しみにしていた。
- 子どもたちの活動に合わせたものになっていて、いつも子どもが楽しめるようにいろいろと工夫をしてくれていると思います。毎週とても楽しみにしていて、園で覚えた手遊びを家でしたりもしています。
- こまめに声をかけてもらえ、先生たちの気配りが嬉しい。相談事もすぐに対応していただけるのでありがたいです。
- 同年代の子どもと接するよい機会になっている。
- 幼稚園に向けて給食の練習や集団行動の練習ができているのがとても良い。
- 幼稚園や保育園と連携した説明会はとても勉強になった。
- 療法士さんに具体的なアドバイスをいただけたこと。
- いろいろな遊具があるので、飽きないで遊べる。
- 今までまわりに子育てに関する相談をできる相手があまりいなかったけど、通園しだして先生方が身近にいらっしゃるのでいろいろ聞いて助かります。(療育的なことを特に聞けるのがありがたい)
- 子どもと二人で遊びに来ている感覚なので、子ども自身がとても楽しみにしている。おうちだとできない本人と向き合う時間を設けることができ親も学びがある。専門の方々がいることでいつでも相談したいことができる環境が整っている。将来のことも相談できることで安心感がある。
- 発達検査が定期的に受けられたので、それを参考に生活の中で足りないところを意識することができてありがたかった。幼稚園に入る前の集団活動への練習ができてよかった。幼稚園入園時に状況を幼稚園に伝えてもらったので、不安なく入園できた。
- 家の中の様子だけでは分からない姿を見ることができた。幼稚園選びで悩んでいた時に話を聞いてくださり、アドバイスなどいただけてありがたかったです。

- 発達がゆっくりな部分のケアや子どもへの適切な対応の仕方、子育てや生活面、トイレや妹への関わり方のフォローなど聞けたり、他のお子さんの例も保護者さんから聞けたり、一人でネット検索よりよっぽどしっかりした話を聞けるし、自分の子を見てくださってのアドバイスなので、頼りになります。自分では気づけない我が子の成長なども教えてくださるので、一週間に1回ですが、通って良かったです。
- 保護者間で情報収集できたから。
- 少人数の集団の中で過ごすことで他者への興味が芽生えた気がする。子どもの発達について相談したらいいか分からずもやもやしていたが、あいあい園で先生や保護者の方と話をさせてもらうようになってから安心に繋がった。
- 翌年から幼稚園に通うにあたっての下地をしっかり作って頂けたととても感謝しています。おつどの時間、決まったスケジュール、先生という存在、お片付け、クラスでのルールなど自分の思い通りにならないときにどうするべきかを学んで、現在幼稚園でもいきています。
- 幼稚園に入る前だったので、親子で受け入れてもらえる場があって本当によかったです。保護者交流や分離保育も楽しみでした。
- 多少の危険のある昨今の公園にない大型遊具やトランポリンがあったのが良かった。
- 保護者と育児の悩みや対処法を共有でき、また頑張ろうと思えたり、長く付き合えるママ友ができたため。
- 作業療法士の先生の講話と個別相談してもらえ、療育の中で完結できたため。
- 就学前にミニ教室のような形で皆で話を聞いたり活動する場に慣れる機会になったため。集団行動する上での子どもの課題発見もできた。
- 子どもの少し気になる・・・というくらいの行動や言動を気軽に聞くことができるというのは、本当にありがたいです。あいあい園に通ってなければ他の子とつい比べたりして、落ち込んだりしていたと思います。
- 先生たちがとてもやさしく経験豊富で安心して活動に参加できた。
- 病気があっても保育活動に参加でき、集団生活を味わうことができた。
- 仕事をしているので、普段の保育園での様子などあまり知らずにいましたが、週に1度少しの時間でも日中親子で過ごす時間は、子どもを知ることや一緒に過ごす時間につながり、通うのは大変でしたが、とても貴重な時間でした。
- 同じような悩みを持った、同じくらいの年齢のお子さんを持つ保護者の方との交流があって良かった。
- あいあい園を卒園してからもこれからの話や悩み相談ができる親子がいる存在がとても大きい。
- 家では準備が大変でできないような製作、季節の物を使った保育をしてくれる所。
- いろんな玩具、遊具があるので、子どもがどういう物に興味があるのか見れて良かった。
- 専門家（OT、ST）の話聞けるのは参考になった。
- 子どもの様子について専門的な意見が聞けるため。
- 支援が必要な子との関わり方、接し方を教えてもらえたのが親子にとってとても良かった。
- 心配事などいつでも相談にのってくださり、助かりました。
- 子育てをしていて困っていることを相談すると親身になって一緒に考えてくださったり、専門職

の方にも意見をいただけてとてもありがたかった。子どもの成長をそばで感じられ、そばで一緒に喜んでくださる存在がいて嬉しかった。

- 子育ての理想論だけでなく、親の気持ちをとても汲んでくださって、「お母さんも人間だから理想通りにできなくても大丈夫だよ」という寄り添い方をしてもらえたのはとても心強かったです。療法士の相談は姿勢を保つことや特定の作業について「なぜできないか」知ることができ、勉強になりました。
- 子どもの様子が分かりどのように関わるか学ぶことができた。
- 先生たちも優しく困ったことなど相談にのって頂きました。子どもはあいあい園に行くのを楽しみにしており、遊ぶ事が楽しいようですし、私も保護者の方とも子育てについてお話ができるので嬉しいです。
- 食べこぼし対策などいろいろ教えてくださりありがとうございました。
- 子どもが楽しく安心して通園しています。どの先生方も丁寧な関わりをしてくださり、子どもが言いたかったことや伝わりにくかったことも私が分かる範囲で補足することで子ども自身の理解を深め、見守ってくださっていると感じています。専門の先生にも相談できる機会がとてもありがたく、より具体的なアドバイスをもらえるので次の行動や頑張りどころがクリアに見える感じがします。
- 子どもの病気などもあり、引きこもりだった生活から外に出るきっかけになっていました。何かあってもすぐ相談できるし、先生方もすごく親の私たちのことまでいつも気にかけてもらってました。それがすごくうれしかったです。他のお母さんともいろいろな話ができて私にとってはすごく大切な場所でした。子どももあいあい園に行くことをすごく楽しみにしていました。お友だちとふれあえるのは、あいあい園だけだったのでいい刺激になりました。だから今でもあいあい園に行きたいって言うときがあります。それは、すごく子どもの気持ちを大切にしてくれて寄り添って頂いていたからだと思います。
- 幼稚園に行く前にあいあい園があって集団生活が少しでも身につけてくれればと思うと良かったと思う。そのまま幼稚園に行ったらめっちゃくちゃ浮いてると思う。子どもはストレートにものを言うし、いじめられるかなあとも思うし。
- 悩んでいること、今できていること、ふと気になったことなど思っていることをマンツーマンで聞けるので、他の保護者に遠慮したり聞けなかったりということがなかったのも、専門の療法士さんとの面談ができただけでもあいあい園に通ってよかったと思えた。
- 療法士さんや保育士さんたちに気軽に相談したり、アドバイスをもらえたのがよいと思います。また、子どもへの対応の仕方などを教えていただき、参考になりました。
- 親子二人で過ごす時間ができ、子どもがうれしそうだから。悩みを聞いてもらえ、気持ちが楽になるから。子どもの成長に役に立つから。(家ではなかなかできないので助かる) 分離保育はなかなか難しいが、先生がフォローしてくださり、子どもにとっていい刺激になってると思うから。個別相談は専門の先生にアドバイスがもらえるので安心感があるから。
- 実際に子が遊んでいるところを見てアドバイスをいただけたので、参考になりました。
- 就学前に集団での保育活動を親も一緒に体験することでどんな声かけや対応をすればいいのか、先生を見ながら、相談しながらできたことはとてもよかった。勉強になりました。不安だった分

離保育も先生方や看護師さんのフォローのおかげで安心して過ごせたとし、親がいない状況での子どもの様子も知れたことは就学前に経験でき、よかった。また、保護者との交流や療法士さんとの相談はいろんな情報を得ることができ、とてもよかった。

2. あいあい園に通園されてもっと強化した方が良い（新規に行った方がよい）と思われることはどのようなことですか。強化した方が良いと思われるものから順に5つ、□に1～5の数字をご記入ください。

	1	2	3	4	5	✓での回答	合計
保育活動	1	2	4	0	0	1	8
保護者同伴通園	1	0	0	1	0	0	2
子育てに関する相談	3	4	1	4	2	5	19
健康相談	0	0	1	2	0	2	5
進路相談	5	0	5	1	0	2	13
給食・おやつ	0	2	0	1	0	1	4
保護者交流	6	1	1	1	2	2	13
療法士による個別相談	1	5	2	2	4	3	17
学習会	3	0	1	0	5	2	11
分離保育	2	5	2	1	0	2	12
他機関との連携	1	1	0	3	0	2	7
食事援助	0	0	1	0	0	0	1
送迎	2	0	1	0	0	1	4
玩具・遊具	1	2	0	0	2	0	5
遊び場などの環境	4	1	0	0	0	0	5
その他	0	0	0	0	0	2	2

*その他の内容

- 子どものくせ、特性を早くつかめるよう支援。できれば対処の方法を示す。個々に合わせた子ども本人へのアプローチ。
- 掃除

もっと強化した方が良い(新規に行った方がよい)と思われる理由を、具体的にご記入ください

(記入いただいた原文のまま記載)

- あいあい園に通って悩みを聞いてもらったり、ママ達との交流でとても救われ、それからの毎日にとっても多くの影響があったので、もっとママ達の悩みを聞く場や交流する場があるといいなと思う。今はコロナで難しいと思いますが・・・。
- 療法士による個別相談は通っているうちに1、2回ほどしかなかったのもっとあるといいなと思う。
- 部屋が密になっているときがあった。個別相談はなかなか時間がとれなかった。進路相談は年長の時にしたいが、あいあい園は年中までしかいられなかった。
- きょうだい児の預かり。有料も含めてないと行けない人も多いと思う。

- 学習会などの機会がもう少しあれば良かったかなと思います。分かっていても思い出したり、あらためて学ぶことでモチベーションを上げたりできるので、1回受けた学習会でも何度も受けたい。療法士の個別相談は今年はコロナで少なく、全然なかったのが、ST、OT、PTとしっかり相談したかった。進路相談、初めての子育てで分からない事だらけだったので、もう少し、地区の幼稚園、保育園、こういう場所がありますと教えてほしかった。
- コロナ禍ということもあったが、先生方が考えて学習会をしてくださったのがいい勉強になったので、これからも続けて行くといいと思います。
- 保育園（認可）への申請中なのですが、あいあい園に通園している事をこちらから別途伝えに行く必要があります、市役所の子ども総合窓口とつながりがあれば助かるなと思いました。
- お部屋の掃除も行き届いており、過ごしやすい工夫がされているとは思いますが、トイレの汚れ（黒ずみなど）が気になりました。
- 外で遊ぶ際、ボールなどがとても古かったり、空気が抜けていた。
- 卒園したあと、コミュニケーションがとりにくい点かもしれない。あいあい園に通っている間はその場で聞ける何気ない会話でもとてもいろいろ助かっていたと思う。
- マット運動：可能であれば1度トライアルで室内遊びの際、マットを敷いてでんぐり返しができる場所を作ってほしい。最近子どもが興味を持ち始めたため。
- コロナ禍のため、なかなか難しいとは思いますが、保護者同士で話す機会が少しあってもよ良いと思いました。
- 市の事業所のため仕方ないですが、私立の幼稚園の話聞いてみたい。
- 給食で出てくる焼き魚が少し固くて子どもには食べにくい。少し柔らかくてもいいかなと感じました。
- 予算やアレルギー問題があるとは思いますが、小さいゼリーとかがあると嬉しいです。
- 今はコロナで難しいと思いますが、保護者同士での情報交換などの場があればいいかなと思います。あと、何回かに1度分離保育があってもいいのかなと思います。
- 保護者同伴通園は下の子を面倒見る人がいないので例えばそこで預かり保育をしてもらえるようなのができたら非常にありがたいと思います（ファミサポ利用していました）
- なかなか相談場所や同じ事で悩んでいるお母さんに出会ったり、話すこともないので、ここで育児相談や保護者の方と話すことは悩みの改善につながって、またリセットされた気持ちで子どもと向き合って接することができると感じているので相談できることは大切。分離保育についてはどうしても下の子がいると週2、3預けて通園できず週1になってしまっているのも全てでなくてもあればと思います。
- コロナのせいもあり、一切保護者同士話せなくなった（交流会の消滅）
- 玩具や遊具は年季の入った物が多く、新鮮味がない。
- あまり相談にのってもらった記憶がない。
- 個別相談は観察されたことはあるが、相談の内容はほぼ意味がなかった気がする。（リターンがなかった）
- 雑談としてはお話できたが、本格的な相談はできなかった。（抽象的な回答しかもらえず）
- コロナ禍ということもあってなかなか一緒に歌を歌ったり、体操できなかったことは残念だっ

た。夏場はもっと水遊びをしたりして楽しめたら良かったと思った。

- 実際に幼稚園に入ってから学んだことであれば、園庭などの遊び場と他の施設（あいあい園だと敷地外、病院、ライフプラザ、ロータリーなど）との間にフェンス、門などがあると、ある程度自由にさせつつ、この範囲で遊ぶというルールを教えやすいと感じました。幼稚園に通うようになってから、口頭で「公園の中だけで遊ぶよ」と伝えるだけで道路に飛び出そうとする回数が減りました。それまでは何を言っても公園から脱走しようとしていました。
- 幼稚園のことが不安でした。あと「青空」についてもネットで調べてください。とのことだったので、体験者の方や具体的な情報がもしあったら聞かせていただきたかったです。
- もう少し先生方から「最近どうですか？」などの声かけがほしかったなあと思うことがあった。他愛もない話をこちらから話すのは少し勇気がいった。あと、保護者同士ともしっかりいろいろな話をしたかった。親同士であまり話すとダメかなあと周りの目が少し気になった。
- お忙しいとは思いますが、通っている子どもの年齢をしっかり把握していただき、私立なのか公立なのかでも願書を出す年齢がかわってきますし、少し子どもと離れて話を聞いていただく機会がほしかったです。保育中だと話がいつも途切れ途切れで毎回最後まで話せずにいつもモヤモヤしていました。
- ペアレントトレーニングや抽象的内容にとどまらない踏み込んだハウツー、親の心構えや今後の見通しについて、知る機会があればもっと良かった。例えば、あいあい園 OB、OG（保護者会）で就学前後の経験談などを聞く機会が、あいあい園の中で完結すれば時間短縮になると思った。
- 保護者同伴通園、活動中保護者が我が子を見るというスタイルは、直接子どもの活動姿勢を見られるメリットはあると思うが、全体に家での母子関係や甘えがどうしても出てしまってメリハリがなくなりがちだったことや、活動時間中、ずっと声かけを親が中心にしなければいけないと感じ、負担が大きいと感じた。活動時間は先生にバトンタッチして親は第3者的に観察するか、その分学習会や交流会を多く持ちたかった。
- 送迎か母子分離の時間がほしかった。（下の子を預かってほしかった）
- コロナのせいで大型遊具が使えなくなったので、身体をいっぱい動かしたい私の子には少しものたりなくなった。
- もっと実践的な学習会（マッサージやビジョントレーニング、ST、OT）をしてほしかった。
- 子どもの特性によって、他に通う場所の選択を提案（卒園生の例など）いただけると子どもの居場所が増えると思いました。（あいあい園に通園しない日の居場所）
- 保護者交流を強化。コロナで人との交流や外出が減っている中、特性のある子と過ごす大変さを分かる親同士の交流は大切だと思います。
- ST、OT との個別相談が入園してからだいぶ後だったので、そこらへんの不安を感じた。こちらから積極的に聞けばよかったのか？
- もっと学習会があってもよいのでは？と思った。自分で本を読んだり勉強したりしている。情報がたくさんあふれているので、親へおすすめの本など紹介してもらえるといいなと思います。（ASD、ADHD、HSCに関するもの）
- 1年間終了後の話を早めに話したい。

- 保育士の数が子どもの数より少ないとき、どうしても親子だけで遊ぶ事が多くなってしまいます。他の保護者さんの相談にのっていたりすると、自由遊びで先生と関われないこともあった。その時間だけでも保育士さんの数が増えるとありがたい。(自分の子どもの様子をみてもらいながら相談したいので)。制度や勤務態勢で仕方ないのは十分承知していますし、今でもしっかり対応して頂いているとは思いますが、希望として記入しました。
- コロナの影響もあり、仕方ないかと思うが、もう少し保護者同士の交流の場がほしい。
- 登園してから帰るまで、あっという間に時間が過ぎてしまうので、もっと長い時間過ごせるとより良いと思う。コロナの影響か今年を通う子が少ないが、昨年度お子さんが多かった頃は見てくださる先生があと1、2名増えるとありがたいなあと感じておりました。
- 保護者同伴だとなかなか素の姿が出にくい気がします。他機関との連携について、どのような手順であいあい園に通園できるのか今でもあまり把握できていないので。
- 小学校に入るまで、身につけておいた方がよいこと、どんなことで子どもが困りそうか情報が欲しいです。入学前に学校に伝えておくべきことの参考になるかと思います。
- 特にこれしてほしい! とかはなかったです。コロナの影響で保護者交流などがなかったので残念でしたが、仕方ない。
- 先生からお子さんについて悩み事などありますか?大丈夫ですか?と声かけするといいと思う。相談したくても内気な人はなかなかハードルが高いと思うから。か、お悩みBOXみたいな箱があってそこに紙が入れられるとか?聞かれない(みんなの前で)人もいるかもしれないから。
- コロナが続いていることもあり、今までならできていた感触遊びがかなり減っていると教えてもらいました。買い取りでもいいので、粘土遊びができれば良かったなと思いました。
- 自由遊び時間に親子で遊ぶのみで先生の声かけなどが少ないと感じることがあった。お友だちと関わることを積極的にできない子たちの橋渡しをしてもらいたいなと思います。
- 子どもの人数が多いので仕方ないと思うが、先生と話せる時間を増やしてほしい。(先生が忙しそうなので、声がかげづらい)
- おやつですが、もう少し化学調味料無添加のものを増やすなど、体にいい成分のものにしてほしい。(香料など少し気になります)
- 本当はもっと通園させてあげたかったのですが、うちは送迎がないと不可能でしたので、そこが強化されるとうれしかったです。
- STの回数をもっと増やしてほしい、半年に1回だと少なく感じた。
- あいあい園卒業後について説明がなかったので、事業所は行ったほうがいいのか?どんな風になっていくのかが分からず困った(そもそも事業所って何すること?と言うレベルであることを知ってほしい)。
- 就学前のST、OTのリハビリもどうやって受けられるのか分からず、6歳になったらWISCの検査を受けることになっているのも自分がTELして日にちを決めるのだが、親が忘れていたら、受けないまま終わるのではないかと思う。
- 担当の先生方(ST、OT、心理士)がいつまで見てくれるのか。小1までOKなのか、次はどんな受け皿があるのか分からない事で不安に思った。今も思っている。フローチャートや一覧な

どを作成し、見て分かるような形にするのが望ましいと思う。情報がなければ知らないまま終わってしまうことがあるかもしれないし、今でも何が情報を落としている気がしている。

3. 就学後や将来に向けて、就学前の過ごし方や療育で大切だと思うこと、保護者やお子様にとって必要な支援についてご意見をご記入ください。 (記入いただいた原文のまま記載)

- いろいろな選択肢があるということ。それぞれの選択した先の話、実際の先輩方の話が聞ける場があるといい。
- ただでさえ成長がゆっくりな子なのに、最近は何でも早期の療育や教育が大切と言われて親はとも焦ります。療育に行けたらとりあえず安心するので、受け皿をもっと増やして誰でもいつでも通えるようにしてほしいです。
- 今後の見通しについての情報提供が必須だと思う。(ST、OTのフォローはどんな人でもしてもらえるのか、小学校になると担当の心理士が終了してしまい、次が決まっていないのも宙ぶらりんな形で親に投げすぎている感じがある) 結局どうしたら良いのか分からない。どんな情報でも知りたいと思う親はとても多いと思う。
- 病院などで子どもの不安定な行動は親のイライラもあると思います。ずっとべったりより、分離してあげる時間も必要なのでは？
- 親のケアが必要だと思います。子どもと一緒に親も気持ちに波があります。つらくなったり、悲しくなったり、がんばろうって思えたり。この時にどこに相談すればいいんだろう？
- 一人一人にあった支援。集団の中に入ると周りに比べてできていないことや苦手なことも多いと思うが、その子のいい所や得意なことを伸ばしてあげること。
- 普段の生活も親は周知しておく。(お友だちとの過ごし方、集団行動の中での我が子の様子)
- 不安に思っていることの伝え方、不安に思うこと。
- 言語発達が十分でないため、お友だちに関心があっても遊びの中に入って行きにくい。思いを伝えることができるようになってお友だちと一緒に楽しく遊んでほしい。STと呼ばれる言語療法に関心があります。
- 安全な範囲でのびのび過ごさせてあげること。
- 自身の子どもの発達状態を知り、それに合わせてどうやって接する、注意してあげるべきか教えてほしい。
- 児に対し、いかに多くの大人が関わられるかがポイントだと思う。(せまい社会の中では児に経験を積ませるのは難しい) 親としては、きめ細やかな対応をしてもらえるとそれだけで安心する。
- 自身の子どもの発達状態を知り、それに合わせてどうやって接する、注意してあげるべきか教えてほしい。
- 意味の分からない言動の対応が億劫になっているので、前向きにちゃんと向き合えるようにしていきたい。(自分の思い通りにならないと何回も同じ事を言ったり、ギャーギャー騒いだりする。最近では、車のシートベルトをするとき自分でできなかった時、「やって」と言われ、やろうとしたら「違う違う」と言ってきてどうしてほしいか分からない。)
- その子の得意な事を見つけ、その分野をのばしてあげられるようサポートすること。逆に苦手なこと、できないことを把握して、そういった場所でどう接してあげるべきか。社会集団の中でどれだけ円滑にコミュニケーションがとれるかを療育で身につけたい。

- 子どもの特性や接し方を見て感じ学べること。本人が安心して親と楽しめる時間を多く作ること。同年代の子どもと遊びを通して楽しい時間を共有できること。人との信頼関係を築いていくこと。何をするか先の見通しを立てて安心する環境を作ること。
- その子一人一人に必要な支援を分からなくて通っていたので教えてほしい。その親に必要な具体策の提案。
- 身体を使って遊ぶ。自分の事は自分でできるようにする。人を傷つけない。(衝動的に物を投げる、たたくをやめさせる)
- 本当にさまざまな子がいると思うので、その時その時に、その子にあった療育やフォローなどを学習して、実践につなげる親の学習会のようなものがあればと思います。
- りんごグループということもあり、個別で遊ぶ事がほとんどだったが、一人っ子の息子にはゲームなどのルールを教えることはとても難しいので、できれば集団で遊ぶゲームのやり方を教えて頂きたかった。
- 息子の場合は、じっとしてられない、言葉が遅れている、こだわりが強い特性があります。その場合、1日の予定があらかじめ分かる絵カード、予定表など大人との共有、共感できるものがあることで、自分の意思を伝えられるので、これはダメ、そのかわりこれはOKという、我慢を自分の中ですんなり受け止められるようになりました。それが今の幼稚園生活のいろいろな場面で活かされていると感じます。これが何より重要な事だと感じています。
- 一番危惧しているのは授業に向けて、小一時間集中して机上の課題がこなせるかということです。周りのお友だちとの関わり方も含め、学んでいけたらと考えています。また、私たち夫婦も親としての我が子への接し方に自信が持てない時もあります。もし間違っていた場合は教えてほしいです。
- 今までできなかったことができたり、人に対して良いことをしたら褒めてあげたりするのが大事なのかなと思いました。子どもの悪いところだけを見るのではなく、子どもの良い所を見てあげるのも大事なんだなと思いました。
- 私が仕事をしているせいもあって、なかなか友だち作りができませんでした。最近(成長のおかげもあり)保育園で友だちができてほっとしましたが、友だちと過ごす時間は大切だな、と思いました。コロナのせいもあり、なかなか遊ぶ機会は作れなかったのですが、少しずつ増やしていけたら良いと思っています。

4、あいあい園終了後のお子様の進路を（就学前・就学後・事業所利用等）差し支えなければご記入ください。

公立幼稚園	5	→	公立小学校	1
			公立小学校（支援学級在籍）	1
			支援学校	1
民間幼稚園	14	→	公立小学校	5
			公立小学校（支援学級在籍）	1
公立保育所	2	→	公立小学校	
			公立小学校（支援学級在籍）	1
民間保育園	6	→	公立小学校	
			公立小学校（支援学級在籍）	4
公立小学校				1
公立小学校（支援学級在籍）				1
支援学校				1
児童発達支援事業所 放課後ディサービス				11
検討中				9

*幼稚園、保育園はあいあい園との併行通園を含む。

*記入のあったもののみ集計。実際に通っている、今後の予定や希望含む。

5. ペアレントメンターについてご存じですか。当てはまる項目の口にチェックをご記入ください。
(複数回答可)。

ペアレントメンターについて知っている、または聞いたことがある。	2
箕面市在住のペアレントメンターの方がおられるかどうかを知っている。(ご本人がペアレントメンターの方も含む)。	0
ペアレントメンターについて知らない。	40
ペアレントメンターについて詳しく知りたい。	17

※アンケート集約にあたって

今回のアンケートに際し、たくさんの貴重なご意見を頂き、利用者様のニーズについてあらためて気づくことが多くありました。

皆様のご意見を日々の療育や今後のあいあい園の運営の検討に活かして参りたいと思います。
お忙しい中ご協力どうもありがとうございました。

※参考 ペアレントメンターについて

- ・メンターとは「信頼のおける仲間」という意味。自らも発達障害のある子どもの子育てを経験し、かつ養成研修を受けた保護者が、子育てで同じ悩みを抱える保護者などに対してグループ相談や子どもの特性などを伝えるサポートブック作り、情報提供等を通し、共感的なサポートを行う。

「第6期障害福祉計画第2期箕面市障害児福祉計画」 資料編より

- ・大阪府ペアレントメンター事業

https://www.pref.osaka.lg.jp/chiikiseikatsu/hattatusyogai_osaka/parentmentor_osaka.html